

大学院_看護学研究科

論文評価の観点	(履修ガイド掲載の) 論文評価基準	A	B	C	D
研究テーマ	療養生活並びに健康生活を支援する看護実践上の課題が焦点化されている。	療養生活・健康生活を支援する看護実践上の有意義な課題が十分に焦点化されている。	療養生活・健康生活を支援する看護実践上の有意義な課題が概ね十分に焦点化されている。	療養生活・健康生活を支援する看護実践上の有意義な課題が不十分ながら焦点化されている。	療養生活・健康生活を支援する看護実践上の課題が焦点化されていない
	先行研究を踏まえた上で、研究の意義・妥当性・新規性が適切に示されている。	十分な文献検討により、研究の意義・妥当性・新規性が適切に示されている。	文献検討により、研究の意義・妥当性・新規性が概ね適切に示されている。	文献検討により、研究の意義・妥当性・新規性が不明瞭ながら示されている。	研究の意義・妥当性・新規性が示されていない。
研究方法	研究テーマを明らかにする上で適切な対象が選定されており、十分なデータが得られている。	対象は適切に選定されており、十分なデータが得られている。	対象は概ね適切に選定されており、概ね十分なデータが得られている。	対象の選定、かつ/または、データの収集に課題がある。	対象の選定が不適切、かつ/または、データがほとんど収集できていない。
	適切な分析方法が用いられている。	分析方法が適切である	分析方法は概ね適切である	分析方法に不適切な部分が散見される	分析方法は不適切である
倫理的配慮	研究倫理審査委員会の承認を得て、十分な倫理的配慮のもと、研究が実施されている。	十分に倫理的配慮がなされている。		一部に倫理的配慮の不足が認められる。	必要な倫理的配慮がなされていない。
研究結果	研究結果が適切に明示されている。	結果の示し方は適切で分かりやすい。	結果の示し方は概ね適切で分かりやすい。	結果の示し方には不適切な部分や分かりにくい部分が散見される。	結果の示し方は不適切、若しくは不明瞭である。
	研究結果は独自性、新規性を有するものである。	先行研究との比較により、明確に独自性・新規性が示されている。	先行研究との比較により、一定程度の独自性・新規性が示されている。	不明瞭ながら、一応独自性・新規性が示されている。	独自性・新規性が示されていない。
考察	研究結果より、療養生活並びに健康生活を支える看護実践の質の向上、もしくはその環境の改善に向けた示唆が得られている。	看護実践の質の向上、もしくはその環境の改善に向けて示唆が得られ、課題解決のための方略を適切に提案することができている。	看護実践の質の向上、もしくはその環境の改善に向けて示唆が得られ、課題解決のための方略を概ね適切に提案することができている。	看護実践の質の向上、もしくはその環境の改善に向けて何らかの示唆が得られている。	看護実践の質の向上、もしくはその環境の改善に向けた示唆が得られていない
	研究の限界と今後の課題が明確になっている。	研究の限界と今後の課題が十分に明示されている。	研究の限界と今後の課題が概ね十分に明示されている。	研究の限界と今後の課題について不足はあるが一応示されている。	研究の限界と今後の課題が示されていない。
論述の妥当性	全体の構成・展開は論理的・体系的であり、適切な記述である。	全体の構成・展開が論理的・体系的であり、文章も論理性・正確性を有し、語彙も適切である。	全体の構成・展開の論理性・体系的性、文章の論理性・正確性、語彙の適切性に一部不足がある。	全体の構成・展開の論理性・体系的性、文章の論理性・正確性、語彙の適切性に不足が散見される。	論文として必要な論理性・正確性を満たしていない。